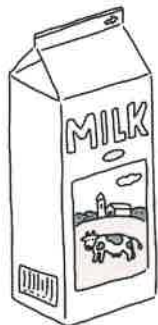


8.3 環境の放射能をどうやって監視するのか？

水、土、空気などの環境物質、野菜、水産物などの食品に含まれる放射能をきわめて低いレベルまで正確に測定する技術が確立されていて、原子力施設周辺の放射能監視や^{かんし} ^{げんすいばく} 原水爆実験などの影響調査に応用されています。



牛乳 約 50 ベクレル



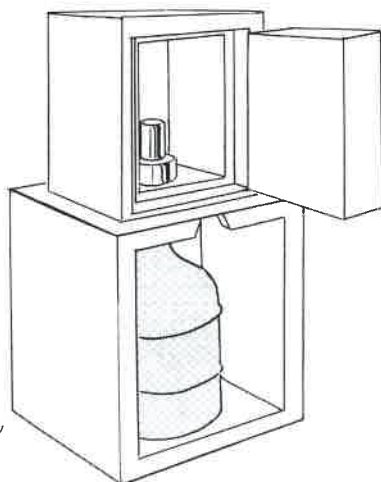
野菜 96 ~ 200 ベクレル



サラダ油
約 180 ベクレル



米、麦 10 ~ 25 ベクレル



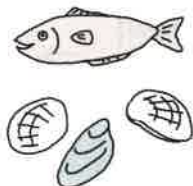
放射能を測る半導体検出器



ビール 約 5 ベクレル



魚、貝、海藻 7 ~ 150 ベクレル



肉 約 60 ベクレル

食品に含まれるカリウム-40、炭素-14などの自然放射能（1キログラムあたり）

現在、わが国の輸入食品に含まれる^{ざんていげん ど} 暫定限度は、1キログラムにつき 370 ベクレル（セシウム-134 とセシウム-137 の合計値）です。